

開講年次・時期	1年後期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	必修	授業形態	演習	単位数	1単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NC320	科目名	介護総合演習Ⅲ	担当者名	棟方ナナ子(実務家教員)
授業の概要	実習に必要な知識・技術を習得する。介護実習前の諸準備、注意事項、スーパービジョン等を行う。介護実習ⅠB、ⅡB、ⅡCの実施に向け、実習手順、介護過程展開方法、基本的な対人援助方法を学ぶ。				
科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・実習の目的・目標を理解できる。基本的な対人援助を実施できる。 ・介護過程を展開する際の留意点を理解し学んだことを実施できる。 ・知識と技術の統合ができる 				
DPの観点	①聴く力 ②表現力 ③柔軟性 ④協調性 ⑤社会性 ⑥専門知識・技能 ⑦思考力				
授業時間外学修(予習・復習)	自発的に施設ボランティア活動を行い施設理解を深める。予習・復習はそれぞれ1時間程度行うこと。				
フィードバックの方法	実習施設評価表の確認とそれに伴うスーパービジョンを行う。				
単位認定の要件	授業時間内、決められた期日までの提出物を重視する。実習施設での評価を参考にし定められた基準を満たすことが単位認定の要件とする。				
評価の方法・割合(%)	施設評価60% 授業内提出物30% 授業内活動10%				
履修上の注意事項	介護福祉士資格取得必須科目 30分以上の遅刻は欠席とする 遅刻3回で欠席1回とする				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			「実習Ⅰのねらいと実習モデル」	①⑥	コミュニケーションカード
2			「介護実習前・中・後の学習の内容と方法」	①⑥	コミュニケーションカード
3			「介護技術の実践を軸にした介護実習」「家族・近隣・地域の視点」	①⑥	コミュニケーションカード
4			施設理解 外部講師(ディサービス)	①～⑦	課題レポート提出
5			「実習Ⅱのねらいと実習モデル」「介護過程を展開する介護実習」	①～⑦	コミュニケーションカード
6			実習の記録について理解できる(日誌等)	①～⑦	コミュニケーションカード
7			「訪問介護」「通所リハビリテーション」「特別養護老人施設」	①～⑦	コミュニケーションカード
8			施設理解 外部講師(小規模多機能居宅介護支援事業所)	①～⑦	課題レポート提出
9			「介護老人保健施設」「養護老人ホーム」「グループホーム」	①～⑦	コミュニケーションカード
10			「軽費老人ホーム」「障害者支援施設」「療養介護施設」	①～⑦	コミュニケーションカード
11			ディサービスとデイケアについて理解できる	①～⑦	コミュニケーションカード
12			多職種連携・協働について理解できる	①～⑦	コミュニケーションカード
13			訪問介護と訪問看護について理解できる	①～⑦	コミュニケーションカード
14			施設理解 外部講師(老人福祉施設)	①～⑦	コミュニケーションカード
15			実習準備について理解できる	①～⑦	コミュニケーションカード 課題レポート
期末試験			試験		まとめと確認

使用テキスト	新・介護福祉士養成講座第10巻「介護総合演習・実習」 荘村明彦 中央法規
参考文献 参考URL	「実習の手引き」青森明の星短期大学
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--